

横山勝三著：シラス学 古今書院，2003年10月，177ページ，4,500円。

「九州南部の巨大火砕流堆積物」と副題がつけられた本書は、約2万5千年前（本書にもあるように、その年代はより古く修正される可能性がある）に鹿児島湾北端部の始良カルデラより噴出した入戸火砕流により形成されたシラスに関するモノグラフである。シラスに関わる地学とそれに関連する内容からなり、著者の長年にわたる研究成果の集大成でもある。

具体的な内容がわかるように章構成を列記すると、第1章：シラスとは何か、第2章：シラスの構成物と物性、第3章：シラスの分布、第4章：シラスの性状と地域の変化、第5章：シラスの研究史、第6章：シラス台地の地形、第7章：シラスの堆積過程、第8章：シラスの堆積地形、第9章：シラスの侵食過程と火砕流堆積物の侵食地形、第10章：シラスの噴火と噴火災害、第11章：シラスと黄土がつくる地形の類似性、第12章：シラス文化と火砕流文化、となる。これからわかるようにシラスに関わる多くの事柄について触れている。

とは言うものの著者は地形学を専門としており、シラス台地の地形の成り立ちに多くの記述がなされている。ちなみに本書の英語タイトルは「*Geomorphology of "Shirasu" Ignimbrite*」とあるが、内容からすれば日本語タイトル以上に内容を表している。シラスの分布やシラス台地の地形的な特徴、侵食過程を中心とした地形発達などについて、著者のこれまでの成果である多くの図表をもとに解説がなされている。評者は断片的に著者の論文に目を通していたので馴染みのあるテーマや見慣れた図も多かったが、本書を読むことにより新たに知り得たこともあり、あらためて系統的に著者の一連の研究を知ることができた。ところでシラスはそもそも火砕流堆積物であるので本書は火山に関する書物と捉えてもよいであろう。しかし多くの火山に関する本では噴火現象や火山災害など

に多くの記述が割かれている。本書を火山学の単行本と位置づければ他の火山学の書籍ではほとんど取り上げられることのないテーマを扱う点で大変ユニークなものといえよう。同時に地形学の単行本でもこれだけ詳細にシラス地形を扱ったものは皆無であろうから、地形学の分野でもユニークな書籍といえる。この様に記すと本書が学術的であり、専門家あるいは大学院生・学生向けの専門書という印象を受けるかもしれないが決してそうではない。そもそもシラスはなぜできたか、あるいは火砕流とはいったい何であるのかを初歩からかなり丁寧に説明を加えて専門外の読者にも十分理解できるように、平易に記述されている。このため一般読者から学部学生、さらには隣接分野の研究者まで広くその読者を想定することができる。また、「シラス」という語の由来や、さらにはシラスに相当する入戸火砕流堆積物の「入戸」の発音に関する話題など、軟らかな話題も随所に散りばめられ、ややもすれば無味乾燥な火山や地形の記述に始終することがないように十分配慮されている。

ところで先にシラスに関わる多くの事柄について触れていると述べたが限られた頁数のためか、内容によってはややもの足りない部分もある。例えばシラスの研究史に関する紹介では1章にわたり十分な記述がなされ、火砕流という概念がない時代に先人たちがシラスをどのようにとらえていたかが記され大変に興味深い。一方で時代を遡り、近代以前、例えば江戸時代の人たちがどのようにシラスを考えていたかの紹介があればより面白く読めたであろう。また、シラスと火砕流と文化の関わりに触れられており、火砕流との関わりで例えば地形景観と石材の例をあげてこれについて触れている。しかし記述自体が短く、やや淡泊な感がする。これらについては歴史的な内容も含めると、文化との関わりにより深い洞察が可能になるかと思う。この要求は著者の専門を考えると見当はずれな気もするが、書名を考慮すれば全く的はずれな要望でもないであろう。機会があれば人文科学の研究者と組み、シラスに関わる総合的かつ地誌学的な書籍の企画されたらどうかと思う。

(鈴木毅彦)

◇新刊紹介◇

- ・産総研 地質調査総合センター編：産総研シリーズ 火山—噴火に挑む— 丸善，2004年2月，310 ページ+カラー口絵，1,500 円。
- ・藤岡換太郎・有馬 眞・平田大二編著：伊豆・小笠原弧の衝突—海から生まれた神奈川—（有隣新書60） 有隣堂，2004年3月，239 +9 ページ，1,200 円。
- ・池谷仙之・北里 洋：地球生物学—地球と生命の進化— 東京大学出版会，2004年2月，228 ページ，3,000 円。
- ・産業技術総合研究所 活断層研究センター・地球科学情報研究部門・海洋資源環境研究部門編：産総研シリーズ 地震と活断層—過去から学び，将来を予測する— 丸善，2004年4月，233 ページ+カラー口絵，1,500 円。